

2014年8月13日

報道発表

クアンビン省Le Thuy地区Khe Nuoc Trong (Dong Chau水源涵養林)におけるサオラSaola (*Pseudoryx nghetinhensis*) の発見について

クアンビン省ドンホイー2014年8月13日朝、サイゴンのクアンビン ホテルにて、ヴィエット・ネイチャー・コンサベーション・センターおよびクアンビン省森林保護局は、Dong Chau – Khe Nuoc Trong水源涵養林において、2012年および2013年に自動撮影カメラによる撮影記録を証拠に、サオラを発見したことを正式に発表しました。

サオラはベトナムとラオス固有の大型哺乳類で、現在、世界的な絶滅危惧種に指定されています。ベトナムでは、この種の情報のほとんどが、チュオンソン（アンナン）山岳地帯にある中央の省（ゲアン省からクアンナム省）のハンターからもたらされてきました。この種の発見以来、研究者や生態学者による野生での目撃情報は一切なく、1999年までに、サオラが自動撮影カメラによって撮影されたのは3件（ベトナム ゲアン省の Pu Mat 国立公園およびラオスのNakai-Nam Theun 国立公園）だけでした。

1999年以降の13～14年の間、ベトナムではサオラが目撃情報はほとんどありませんでしたが、今回のクアンビン省Le Thuy地区Khe Nuoc Trongでのサオラの撮影記録は、希少かつカリスマ的なこの哺乳類が、まだ野生で生存していること、そして、この地がベトナムで2か所目の生息地※であることの証となりました。

（※1か所目の生息地：世界自然保護基金とクアンナム省森林保護局との共同事業の大規模な取り組みの結果、2013年9月、クアンナム省サオラ自然保護区で1頭が自動撮影カメラで撮影されています。）

Khe Nuoc Trong での自動撮影カメラによるサオラおよびその他の希少種の調査の結果、2012年から2013年の間に2頭のサオラが写真に収められました。2012年7月14日に成体のサオラ1頭が9枚の写真に記録され、2013年6月8日に若いサオラ（1才以上程度）が1枚の写真に記録されました。いずれも、夜間（午後9時頃から午前2時）に撮影されたものです。